

科 目 名	社会福祉発達史					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	古 川 孝 順・平 塚 良 子						
開 講 年 次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	私達をとりまく社会のさまざまな変化は、種々の生活問題や社会問題及び福祉課題を提出しその取り組みは総合的になされなければならない。また、現代社会の深刻な高齢・少子化の進行等は我が国の福祉のあり方や福祉施策に大きな変革と転換をせまっている。これらの変化と今後の対応・あり方について考察していこうとするとき、これまで策定実践されてきた関連施策と福祉援助の流れを確認し、それぞれの時代の課題やその対応について考察する必要がある。そこで、本講は、社会福祉の変遷とその時代背景、福祉援助への考え方、また援助のあり方がどのように変化発展してきたかについて学習を進めたい。時代背景の変化の中で見忘れられてきたような福祉援助の新しい発見やあり方が学習しあえることを期待したい。						
授 業 の 到達目標	1. 我が国に大きな影響を与えた欧米の社会福祉の歴史について、その概要を理解している。 2. 我が国における社会福祉への歴史、時代背景とそこにあった考え方についてその概要を理解している。 3. 戦後大きく変換した社会福祉の流れについて理解している。						
学 習 方 法	講義						
テキスト及び 参考書等	古川孝順『社会福祉の新たな展望』ドメス出版、2012年 その他必要に応じ参考すべき文献を紹介する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎	○			40	
小テスト等							
宿題・授業外レポート		◎				30	
授業態度			◎			30	
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	社会福祉への出発（福祉ということ・援助行為）						
第 2 週	欧米の社会福祉の歴史（イギリス：救貧法を中心①）						
第 3 週	欧米の社会福祉の歴史（イギリス：救貧法を中心②）						
第 4 週	欧米の社会福祉の歴史（イギリス：社会事業と民間福祉）						
第 5 週	欧米の社会福祉の歴史（イギリス：社会保障と社会福祉）						
第 6 週	欧米の社会福祉の歴史（アメリカ：救貧法と慈善事業）						
第 7 週	欧米の社会福祉の歴史（アメリカ：社会保障とソーシャルワーク）						
第 8 週	戦前期の社会事業						
第 9 週	戦後社会福祉と基礎構造改革						
第 10 週	ソーシャルワークの形成						
第 11 週	ソーシャルワークの我が国への紹介						
第 12 週	戦後期におけるソーシャルワーク						
第 13 週	高度成長期以降におけるソーシャルワーク						
第 14 週	基礎構造改革以降の社会福祉						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	事前事後学習については授業ごとに指示を行う。						